

# 新たな視点を持って 確実な進歩を

埼玉代協



塩野会長

## 新春の集いと講演を開催

### 産業革命以来の変革期 あらゆるリスクから顧客を守る

埼玉代協(塩野忠会長)は1月19日、大宮ソニックスシティ(埼玉県さいたま市)で新春の集いを開催した。塩野会長は、社会的に変革期を迎えている今、未来を見据えて保険代理店も時代に合わせて変わっていく必要があると呼び掛けた。また、ダイエットインストラクター芸人のヤセ騎士(ナイト)さんが「苦難は幸福の門」と題して講演した。新型コロナウイルスやインフルエンザの感染拡大防止の観点から、今年も会場とオンラインによるハイブリッド開催となった。

冒頭、挨拶に立った塩野会長は、政府の対応を見てもウイルスコロナの時代が本格的に到来するのではないかと述べると共に、世界的にも厳しい社会が続くが少しでも前へ進めるようにしたいと希望を語った。そのうえで

AIやメタバースの普及等により、社会は産業革命以来の変革期のただ中にあり、仮想空間に代理店を出店する時代の可能性を示唆。「我々にはもうした時代が到来するという認識が足りていないだろうか」と問いかけた。これからの代理店の在り方について「従来のスタイルに新たな視点を持って取り組み、5年後、10年後には確実に進歩したい」と展望した。

来賓挨拶で登壇した日本代協の小田島綾子会長は、

### 代理店の存在意義が「層高まる」

層高まっているとの見解を示した。そのうえで、日本代協では変化に対応した情報を提供し代理店をサポートしていくと約束した。また、「DXで業務が変化しているが、変化に対応した業界として顧客や他業界から評価される業界にしていきたい」と業界の発展に言及した。

この他、損保協会の埼玉損保会会長や日本代協専務理事、保険会社の代表者等が挨拶に立った。第2部は、生保会社でも多数の講演を行っているというヤセ騎士さんを招いた講演。生い立ちや、コピー機の営業で社内トップクラスの成績を収めた経緯、起業で成功、自殺未遂、芸人になり現在

に至るまでの波瀾に満ちた自身の半生を紹介しながら、成功のポイントや気付きを語った。

